

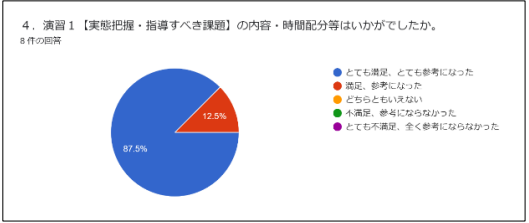
(1)遠隔でのやりとりを含めた児童生徒の実態把握の在り方について

【附属桐が丘特別支援学校】

〈目的〉実践的指導力向上を図れるオンライン研修【自立活動実践力錬成塾】の在り方を検証する。

〈方法〉実態把握・指導すべき課題／個別の指導計画作成／実践の経過改善／評価の各演習について、オンライン上で行えるカード整理法の手続きを考案し、実施・検証した。

〈結果〉受講者アンケートから、実態把握・指導すべき課題の演習の満足度は、[とても満足・とても参考になった]が8名(87.5%)、[満足・参考になった]が1名(12.5%)であった。また、回答のあった8名の受講者全てにおいて、自立活動の指導における、実態把握から評価までの一連の流れについて、自己効力感が向上した。



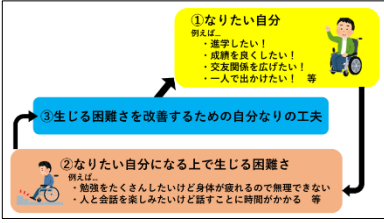
(2)遠隔による指導を含めた自立活動の指導と評価について

【附属桐が丘特別支援学校】

〈目的〉[自立活動の学習が現在や将来にどのように生きていくのか]という思考を促す遠隔合同授業の在り方を検証する。

〈方法〉肢体不自由特別支援学校の準ずる教育課程に在籍する生徒を対象とし、自立活動で各自が実践している取組の目的や内容等をオンライン上で発表し合い、意見交換を行った。

〈結果〉遠隔合同授業1回目では対話は進みにくいものの、悩みに向き合い解決を図ろうとする姿や、自分の考えを伝えようと励む姿を交流することで、自立活動が現在や将来にどのように生きていくかを考える動機付けとなった。その後、在籍校における自立活動の指導や進路指導等の改善を図り、遠隔合同授業で対話を重ねていくことで、思考の深まりや新たな考えの形成が見られるようになった。



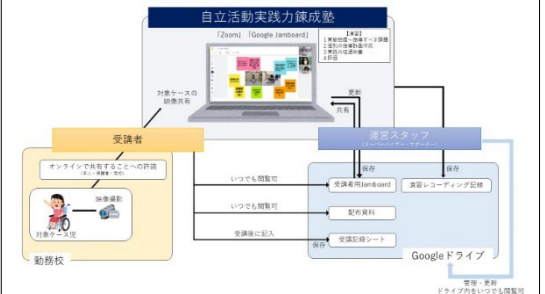
(3)遠隔でのやりとりを含めた外部との連携の在り方について

【附属桐が丘特別支援学校】

〈目的〉実践的指導力向上を図れるオンライン研修【自立活動実践力錬成塾】の在り方を検証する。

〈方法〉情報共有や話し合いが遠隔でも円滑に行えるよう、Web会議システムやオンラインホワイトボード機能、共有ドライブ設定の活用方法を検討し、実施・検証した。

〈結果〉アンケート結果から、オンラインを活用した連携時の留意事項が整理できた。自立活動実践力錬成塾で使ったアプリケーションや各種設定は、専門的な知識を有さずとも運用しやすく、汎用性が高いと言える。



【附属大塚特別支援学校】

〈目的〉指導計画作成のための実態や教育的ニーズの把握等に関する遠隔システムの有効性等を明らかにすること。

〈方法〉個別の指導計画(自立活動)の作成について遠隔での面談(幼稚部・小学部は保護者面談、中学部・高等部は三者面談)を実施した保護者とその担任へのアンケート調査

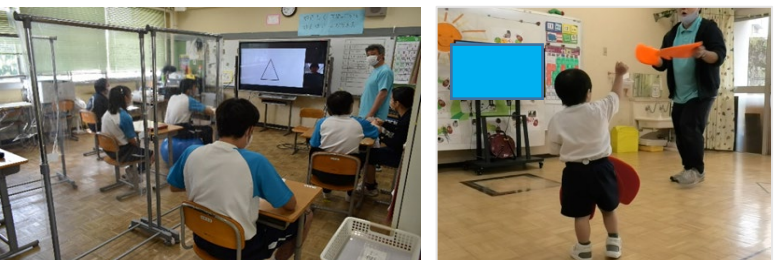
〈結果〉教員と保護者からは遠隔を活用した面談の利便性、満足度ともに高い割合が示された。またアンケート結果と分析についてポスターサイズに印刷したものを校内に掲示することで、教員や保護者が自由に閲覧できるようにした。



【附属大塚特別支援学校】

〈目的〉これまでの実践方法の整理や指導計画(自立活動)の作成を通して、遠隔を含めた具体的な自立活動の指導実践例としてまとめること。

〈方法〉個別の指導計画(自立活動)の運用
～2020年度のカリキュラムマネジメントを通じた校内共通化
〈結果〉指導事例として発信はできたが、自立活動としての整理等は今後の課題の一つとして考察された。



【附属大塚特別支援学校】

〈目的〉講師から指導助言を受け、今後の指導に向けて評価改善を図ること。

〈方法〉校内の授業研究会等を通じた指導助言や校内研修の実施

〈結果〉指導の評価改善、自立活動の理解等を深める機会に繋がった。今後の実践課題として、実態把握や指導方法の多角的・多面的な検討が示唆された。

